

令和3年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第7号（水稻）

令和3年8月6日発表
 広島県西部農業技術指導所
 対象期間 令和3年8月上旬～8月下旬



1		予報内容（8月下旬まで）		
病害虫名		現況	予報	防除上の注意事項
穂いもち	中生	やや多 (葉枯)	やや多	◇一部で葉いもちの多発によりすり込み被害が見られる。 ◇穂ばらみ期、穂ぞろい期の穂いもちの基幹防除を徹底する。 ◇にわか雨が多い場合は病勢が急激に進展するため、ほ場を見回り、葉いもちの多発が見られたほ場では直ちに防除する。
紋枯病	中生	少	やや少	◇前年度発生の多かったほ場では、特に発生に注意する。 ◇多湿条件になりやすい茎数の多い品種、茎数が多く推移しているほ場では発生に注意する。 ●要防除水準：穂ばらみ期の発病株率が中生品種で20%以上。
セジロウンカ		やや少	やや少	◇8月第1半旬の生育ステージは中老齢幼虫期であった。 ◇原則で保護の防除は不要である。 ●要防除水準：幼穂形成期から穂ばらみ期に10頭/株以上。
トビイロウンカ		並 ※発生なし	並	◇8月上旬巡回調査では、発生は認められなかった。 ◇7月第6半旬まで、予察田（呉市安浦町、東広島市八本松町）での発生は認められていない。 ◇7月第5半旬まで、予察灯（呉市安浦町、東広島市八本松町）への飛来は確認されていない。
コブノメイガ	中生	少	少	●中生品種や収穫時期の遅い品種は、被害株率20%を超える場合、粉剤・液剤は発蛾最盛期の7日後、粒剤は発蛾最盛期に追加防除を行う。
イネカメムシ		-	-	◇7月下旬、8月上旬の本田すくい取り調査における発生地点率は、17.4%（247地点中43地点）で、多発地域では幼虫の発生が見られる。 ◇本虫は斑点米被害だけでなく、不稔による大幅な減収も発生させる恐れがある。 ◇防除は出穂期とその10日までの間に2回の防除を行う。2回防除後も発生が見られる場合、3回目の追加防除を行う。

斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類 その他加害種）※1	中北部※2	—	やや少	◇出穂期近くになっての畦畔などの除草は、カメムシ類を水田内に追い込むことになる。中生では出穂2週間前までに除草を終える。 ◇出穂期の防除時期を逸しないようにする。 ※1 カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホソハリカメムシなどの大型のカメムシ類。
--------------------------------	-------	---	-----	--

※2 中北部とは、中西部、中東部、北部を合わせた地帯

2

予報の根拠（現況調査：8月3～5日，26地点調査）

（1）穂いもち（中生：13地点調査）

◆巡回調査結果（中生：やや多（葉いもち））

	本年	平年	前年
発生地点率（%）	30.8	52.2	25.0
平均発生程度	1.34	1.16	1.07

（2）紋枯病（中生：13地点調査）

◆巡回調査結果（中生：少）

	本年	平年	前年
発生地点率（%）	15.4	42.2	30.8
平均発生株率	0.6	8.7	8.9

（3）セジロウンカ

◆巡回調査結果（やや少）

	本年	平年	前年
発生地点率（%）	51.9	80.3	84.6
平均発生程度	1.23	1.71	2.16

向こう1か月の気象は発生に好適となっている。

予察田（呉市安浦町）における8月第3半旬の100株当たりの発生量は、666頭であった（平年809頭/100株，前年728頭/100株）。

(4) トビイロウンカ

◆巡回調査結果（並 ※発生なし）

	本年	平年	前年 (警報発表年)
発生地点率 (%)	0	11.3	69.2
平均発生程度	1.00	1.03	1.30

(5) コブノメイガ

◆巡回調査結果（少）

	本年	平年	前年
発生地点率 (%)	0	21.7	80.8
平均発生株率	0	3.2	20.5

(6) 斑点米カメムシ類

【予察灯（呉市安浦町）での7月第1半旬から第6半旬までの累計誘殺数（アカスジカスミカメ）】

本年 52頭, 平年 122.8頭, 前年 27頭。

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
 「やや多」 : 2～3番目と同程度
 「平年並」 : 4～7番目と同程度
 「やや少」 : 8～9番目と同程度
 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下

区分	多	やや多			並				やや少		少
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

3

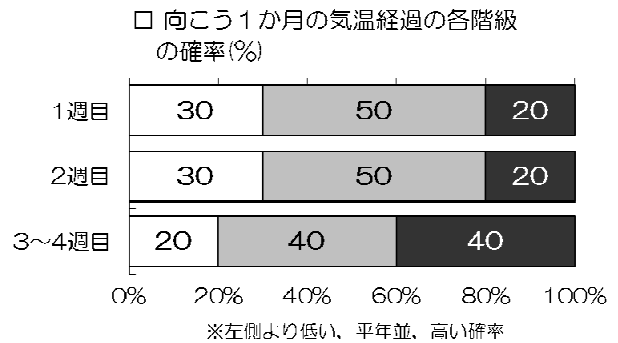
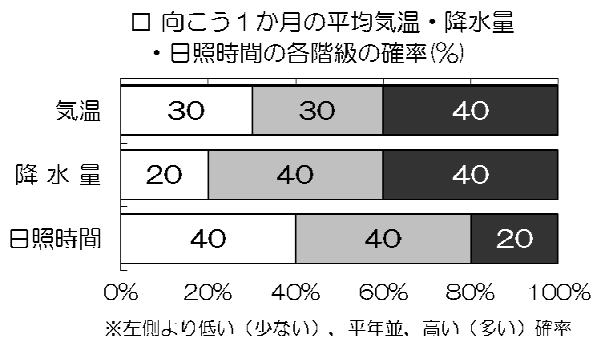
その他の病害虫の発生状況（現況調査：8月3～5日，26地点調査）

病害虫名	現況	防除上の注意事項等
ヒメトビウンカ	少	出穂前後の防除を徹底する。縞葉枯病を発病した株は抜き取る。
フタオビコヤガ	少	穂ばらみ期防除を基本とする。

中国地方1か月予報

(広島地方気象台8月5日発表, 8月7日から9月6日までの天候見通し)

- ・天気は平年に比べ、晴れの日が少ないでしょう。
- ・向こう1か月の気温は平年より高い確率が40%、降水量は平年並または多い確率ともに40%、日照時間は平年並または少ない確率ともに40%です(図1)。
- ・週別の気温は、平年並である確率が1週目、2週目ともに50%です。3~4集目は、高い確率がおよび平年並である確率が40%です(図2)。



6月1日から8月31日まで、**農薬危害防止運動** 実施中！
農薬を使う際は、容器のラベルをよく読んで、
使用方法や注意事項を守り、農薬による危害と事故を防ぎましょう。

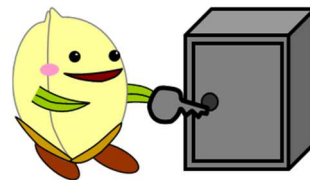


- スマホでアクセス
農薬危害防止運動に関する情報 QRコード→



● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
東広島市八本松町原 6869
TEL：082-420-9662 (直通)
FAX：082-420-9665
メール：wnshidou@pref.hiroshima.lg.jp



粃之進



りもれん

ひろしま農業情報ホームページ(病害虫情報)

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/nougijutsu/#byougaityuu>)

ひろしま 農業情報

検索

